

「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩

～町と協働で事業してみませんか?～

協働のまちづくり提案事業補助金

(令和5年4月から制度変更します)

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366

目的

行政課題と地域や団体などのやりたい思いとをマッチングして、協働事業を支援します。

補助金額

1年目 **30**万円 (補助率100%)

2、3年目 **15**万円 (補助率50%)

補助要件

- ・3年間事業を継続して実施すること
 - ・4年目以降は自立した取り組みを行うこと
- ※町との協働事業になるため、必ず事前相談をしてください。

利用までの流れ

1 町ホームページから申請書をダウンロードし、申請書類に記載

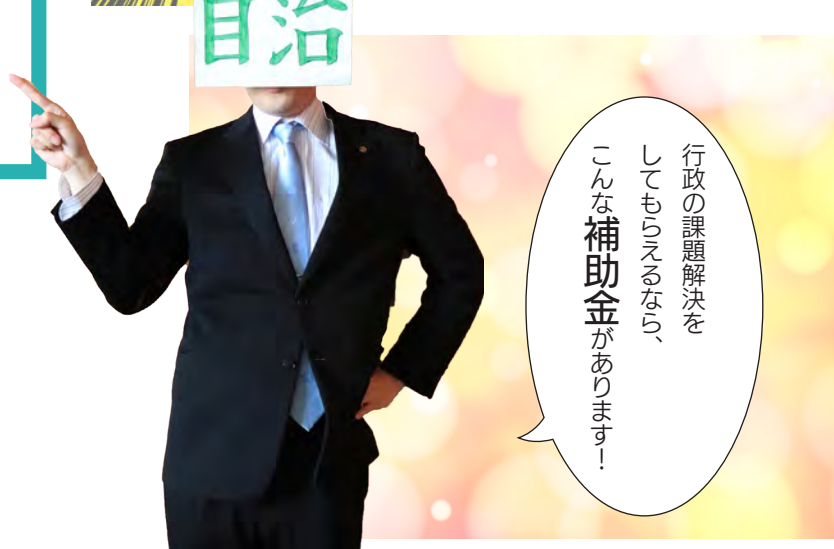
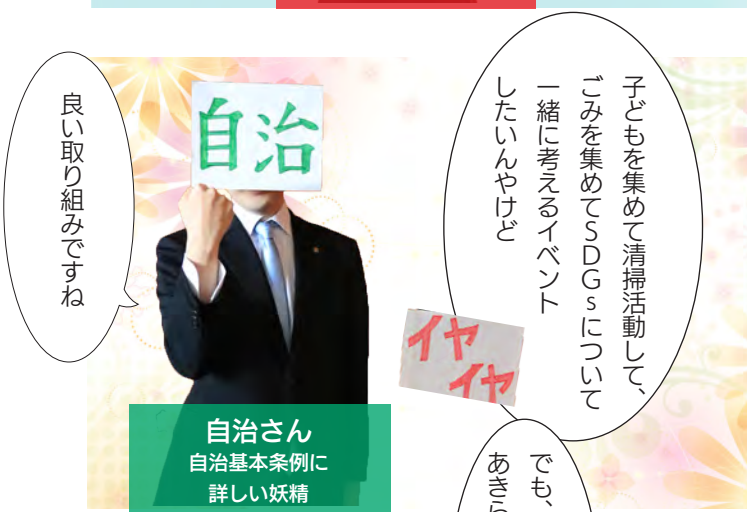
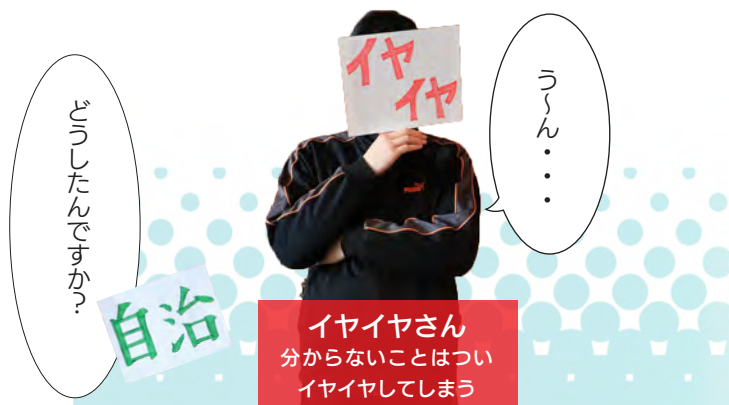
2 メールや持参により受付

募集期間: **4/3** ～ **5/26**

3 6月下旬にプレゼン審査を実施します。



詳細はこちら



「広陵町自治基本条例」って知ってる？

自治さんと学ぶ 自治基本条例講座

Vol.26

「何かをしたい思い」が
まちづくりの第一歩

～なるほど！な川柳集まりました～

令和4年度男女共同参画
・ジェンダー平等川柳

いろいろないきかたみとめるっていいよね
なほ
変わっても困らないよに名付けする
KU
孫欲しいAセク相手にそりゃ困る
パレオパラドキシア
・タベタイ
ジェンダーレス男も女も関係ねえ
hiorinouka
若いかから現場作業に年の差無し
hiorinouka
男女別？混浴風呂には意味不明
hiorinouka
ジェンダーで直して我が家の女性上位
読み人志らず
ジェンダーで改善我が社の女性上位
読み人志らず
とうらぶのタカラジェンヌかつこいい
もの
ママ残業パパ育メンで奮闘中
梶原 佳子
男女差の垣根をなくし良い未来
梶原 佳子
パパ友と意見交換する職場
梶原 佳子
野良仕事男の特権立ちションおやじ
月下美人
カレンダー夫婦でメモる当番表
月下美人
脑梗塞わかってくれよ後遺症
竹井 三男

自治

昨年9月号で
町から募集して
集まった作品です。

自治さん
自治基本条例に
詳しい妖精

上記川柳投稿者の
想いや解説は
こちらから

個性的な川柳やなあ…

イヤイヤさん
分らないことはい
イヤイヤしてしまう

令和5年3月に
策定しました



広陵町男女共同参画
後期行動計画



広陵町まちづくり
推進計画

まちづくり
「おたがいさま」が
合い言葉

イヤイヤさんの
意識がすごい！

俺も一句できたわ！

自治

自治

町のこと、
さまざまな場面から
考えられますね。

自治さんと学ぶ

自治基本条例講座

Vol.27

「何かをしたい想い」が まちづくりの第一歩

地域の交通安全のために ～中区自警団～



▲今回は 20 か所あまりを清掃

カーブミラーは設置してから年数が経つと、鏡面がくもるなどの劣化が生じてきます。中区では、地域の交通安全のため、

#地域でカーブミラーをきれいに

5月7日、GWの最終日。雨が降り続くなか、地域のつゆり（溝掃除）終了後、中区自警団の皆さんが、地域内にあるカーブミラー清掃を実施しました。

自警団を中心に清掃を実施しています。

当日集まったのは、団長の中津さん、団員の木下さん、末長さんの3人。

「私たち3人は、元々別のところから中区に引っ越してきました。現在の自警団員は7人。現役の正規団員に地元の方が所属していないのが寂しいですね。」と語る中津団長。コロナ禍の影響もあり、地域では普段の付



き合いがなかなかないそうです。

「普段から地域の人たちの関わりがなければ、いざ災害が起こったときに助けに行くことが難しくなりますね。地域で円滑に助け合うことができるように『共助』の取り組みを進めていくことが大切ですね。」「この清掃もそうですが、地道な活動を通じて地域が團結していけるようにしたいですね。」と話されました。

#合い言葉は「おたがいさま」

地域の付き合いや活動は面倒な側面もありますが、普段からあいさつしたり、一緒に掃除したりして顔見知りになるだけでも地域の絆、つながりが生まれます。こういった活動を通じて「おたがいさま」が合い言葉になって、助け合えるまちになるといいですね！

地域の安全を、
地域の人たちで守って
いけたら素敵ですね！



自治さん
自治基本条例に
詳しい妖精

「広陵町自治基本条例」って知ってる

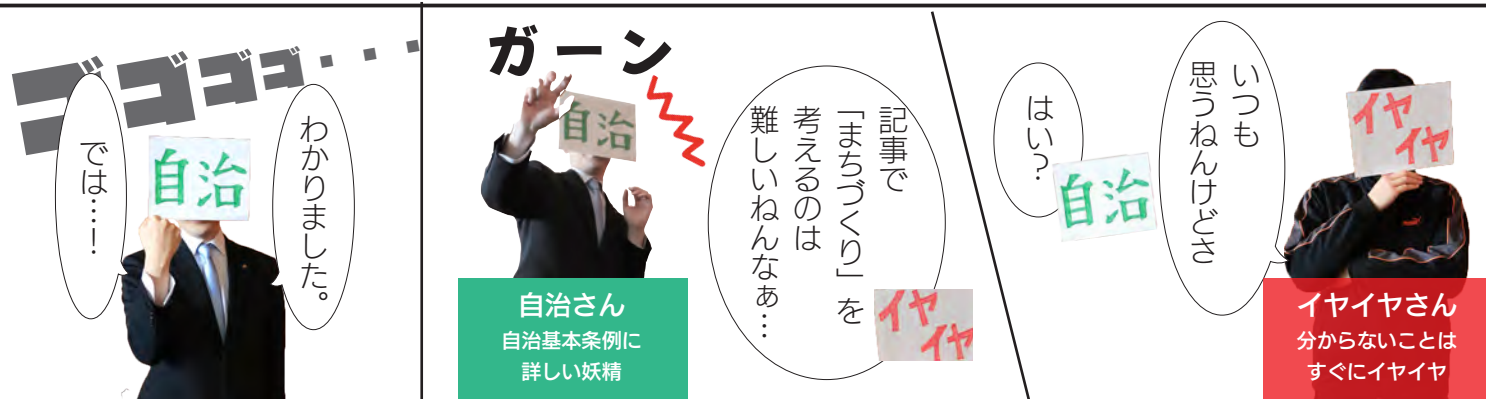
自治さんと学ば 自治基本条例講座

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366

Vol.28

「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩

～まずはやってみる！！～



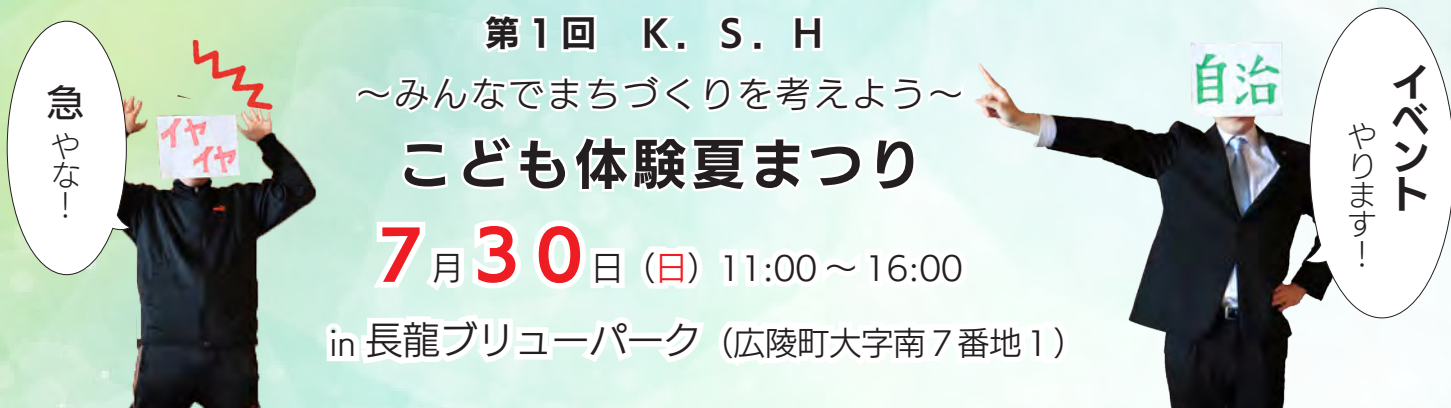
第1回 K. S. H

～みんなでまちづくりを考えよう～

こども体験夏まつり

7月30日(日) 11:00～16:00

in 長龍ブリューパーク (広陵町大字南7番地1)



町 内の関係団体やボランティア団体を中心となって、子どもが楽しく体験しながらまちづくりを考えられるイベントです。詳細は随時、町ホームページを更新します。 ➡



詳細はこちら



水消火器訓練



AED 体験



靴下ハギレの指編み



紙芝居・人形劇

など

出展団体・関係団体 (順不同)

- ・広陵町商工会青年部・女性部
- ・防災士ネットワーク
- ・広報指導分団 (チームかぐや姫)
- ・民生委員・児童委員協議会
- ・広陵遊笑会
- ・読み語りのグリーングラス
- ・おはなしほっけブチトマト
- ・杜鵑草 (ほととぎす)
- ・ワンダフルな街を創る会
- ・手話サークルみどりの会
- ・文化財ガイド
- ・青少年健全育成協議会
- ・老人クラブ連合会
- ・まちづくり連絡会
- ・自治基本条例推進会議委員有志

イベントの目的

「まずはやってみる」という思いで、町内関係団体やボランティア団体が「まずはやってみる会」を組織しました。第1回は子育て世代を中心に楽しんでもらえる企画にしました。

主催

広陵町まずはやってみる会

共催

広陵町

自治さんと学ぶ 自治基本条例講座

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366

Vol.29

「何かをしたい想い」が まちづくりの第一歩 ～ 広陵ドッグスクール ～



「熊本、広島、静岡など豪雨災害で土砂崩れがあつた被災地に災害救助犬とともに入って人を見つけた活動をしました。幸い奈良はあまり災害がない地域なのでありがたいです。」と話す代表の松川さん。

「救助犬」というと警察

#知られざる救助犬の活躍

田 さんぼの広がる広陵町大字百済にある集落の一角に、犬をしつけるための学校「広陵ドッグスクール」があります。しつけだけでなく、警察犬や災害救助犬の育成を行っています。

や自衛隊の犬を思い浮かべますがわずかに1割です。残り9割は私たちのような民間の活動団体があります。ただ、交通費や訓練に必要な場所代などはすべて実費です。救助犬の訓練・育成、実働はほとんど無償ボランティアであること、こういった活動を広く知ってもらえていないことが課題ですね」と松川さんは話します。



いに訓練場を走り回る一方、救助トレーニングを行うときにはハンドラー（訓練士）の言うことを聞いて、土管に隠れている人を見つけ、ハンドラーに伝えていました。

#広げたい救助支援の輪

「広陵町とは直接災害救助犬の出動に関する協定を結んでいます。それに広陵町だけでなく、広陵町以外の被災地でも広陵町を背負って救助できるようにしていきたいですね。また、広陵町では

迷い人の捜索に関わって見つけられるようにしたいですね。また、将来は市町村が救助犬を所持してもらえればいいですね」と意気込みをいただきました。

町では、機能停止した広陵交通公園を当スクールに貸し出し、訓練を実施しています。また、広陵高田ビジネスサポートセンターに今後の事業者との連携や救助犬育成のビジネスモデルづくりに取り組んでおられます。

こういった活動がもっと広く知れ渡るといいですね！



自治さん
自治基本条例に
詳しい妖精

「広陵町自治基本条例」って知ってる

自治

自治さんと学ぶ
自治基本条例講座

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366 Vol.30

「何かをしたい思い」が
まちづくりの第一歩
～楽しく学べたかな?～



第1回 広陵町を 知って 欲しい K . S . H 開催

7月30日、夏の暑い日差しが照りつけました。
そんな中でも子どもたちは元気に見て、聞いて、体験してくれました。



9/1 ~
募集します

自治基本条例
推進会議委員

広 陵町のこれからのまちづくりにつ
いて考えると、町の施策の
進捗確認などを行います。

- ▶ 募集人数：5人程度
- ▶ 任期：2年

※まちづくりに関する作文
とともに応募いただきます。
詳細は町ホームページをご覧ください。



詳細はこちら

子どもの元気や笑顔は町の
活力につながりますね!

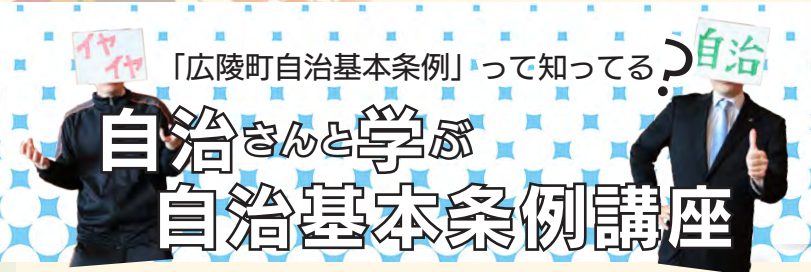


自治さん
自治基本条例に
詳しい妖精



イヤイヤさん
分らないことは
イヤイヤしてしまう

子どもたち、
楽しそつやったなあ!



「何かをしたい思い」が
まちづくりの第一歩

～まちを知るイベント『竹馬★クイズラリー』～

みなさんは、自分のまちや隣町のことをどれくらい知っていますか。災害が各地で頻発しているなか、力になるのは住民同士の助け合い。そこで広陵町と河合町の子もたちに、お互いのまちを知る機会をつくろうと始めた「竹馬★クイズラリー」。クイズを通じてまちのことを学びながら進みます。

第3回
2023

竹馬★クイズラリー

in 竹取公園・馬見丘陵公園

11月3日(金・祝) 参加無料

- ▶ 対象者：小学生
- ▶ 定員：先着210人（予約優先）
- ▶ 持ち物：筆記用具、水筒
- ▶ 集合場所：竹取公園 みんなの広場

▶ 参加方法：

右記QRを読み取り、申込フォームから登録

▶ 注意事項：

一グループにつき、1人以上の保護者の同伴が必要です。

未就学児はクイズラリーの参加はできませんが、同伴は可能です。



申込はこちら

主催

竹馬クイズラリー実行委員会

共催

河合町・広陵町

小学生が
対象ですよ！



イヤ
イヤ

イヤイヤさん
分からないことはつい
イヤイヤしてしまう

俺も参加して
全問正解したるわ！

今年で3回目の取り組み。
クイズを通して楽しく広陵
町と河合町を知ることがで
きますよ！

自治

自治さん
自治基本条例に
詳しい妖精

町でがんばる
事業者様を紹介



KoCo-Biz Pick Up !

#19



今月の動画企画

学研教室 広陵西教室 森嶋 知美さん
広陵町平尾514-3 文房具店エトワール内
☎ (44) 2722

広陵高田ビジネスサポートセンター KoCo-Biz

- どんな業種でも ▶ 相談日：平日9:00～17:00（完全予約制）
- どんな内容でも ▶ 相談場所：広陵町ふるさと会館グリーンパレス
- 無料で何度でも 大和高田市役所
- 相談できます！ ▶ 予約：☎ (51) 0770

学

研教室 広陵西教室をご紹介します。

講師の森嶋さんは幼児教育学科卒の経歴を持ち、コロナ禍の中、幼い頃からの夢だった教育を目指し学研教室を開室。その理由は“学校生活を楽しめる生徒を増やしたい”という思い。主に年中～小学校6年生までの生徒が中心となり、生活の中に学習習慣が身につくよう各生徒に合わせた教材を用意されています。テーマは難しく感じない、“できるかも”を増やす指導。得意な科目が一つあるだけで学校への“楽しさ”が大きく変わってくると言います。生活の中の家事を教えることもあり、特に料理は計量や材料を切る際の“等分”が算数に反映されることも。ココビズでは現在公式ホームページのサポートを行っています。ぜひ一度広陵西教室を覗いてみてくださいね。



「何かをしたい想い」が まちづくりの第一歩

～ 大塚区だんじり入魂式 ～

心

地よい秋の風が吹いた9月24日、大塚区ではだんじりが改修され、於神社で入魂式が行われました。大塚区長の塚本義久さんと前区長の安本元英さんにお話を伺いました。



初めての
だんじり大規模改修

塚本さん…由緒ある祭りのため、だんじりを修繕できて良かったです。このだんじりは2代目で大正時代ここへ来



ました。江戸時代末期に堺で制作されてから大規模な改修は今回が初めてです。上半分はほとんど変わっていませんが、土台の構造部分が長年の使用で傷んでいました。

次世代に
つなげる祭りを

当日は子どもへの参加が多く、試し曳きをしたり、太鼓を叩いたりしていました。

塚本さん…大塚は子どもの割合が高く、とても賑やかです。



子どもたちで祭りを盛り上げて、大人になってもこの祭りを楽しんで続けてほしいですね。

【最古級のだんじり絵】



今回、神社の拝殿内にある絵馬について、安本さんにご説明いただきました。

安本さん…この絵馬（伊勢参宮下向図）は、江戸時代末期（萬延元（1860）年）に書かれたもので、大塚のだんじりが描かれています。国内で最古級のだんじり絵と言われていて、当時の神社や鳥居、人々の服装や出で立ちなど風俗が描かれている貴重な絵馬なんです。こういった歴史も地域の皆さんに知ってもらいたいですね。

自治さんと学が 自治基本条例講座

Vol.33

「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩

～的場地区生き物調査～

9

月24日、的場地区資源活性化組合は、町内の子

もたちに地域の自然や地元農業に親しみを持ってもらうことを目的に、地域の水路で磯城野高校と協働して生き物調査を実施されました。

#農業や自然をもっと身近に感じてもらうため

木村さん（的場地区資源活性化組合代表）..

これまでの場区の子ども会とにも生き物調査を行いました、子ども数が減ったことで的場区子ども会が解散となりました。そんな中で、子どもたちに自然に親しんでもらうため、知り合いを通じて赤部子ども会に声をかけ、この取り組みに参加してもらったことになりました。



#さまざまな生き物に出会う

当日は生き物アドバイザーで磯城野高校の吉田先生と生徒さんとともに生き物調査を実施。子どもたちは、水路に入り網や竿を持って参加。先生や生徒さんの支援のもと、魚、トンボ、貝、カワエビなどが採れました。



船田さん（赤部子ども会会長）..

子どもたちから「採れた!」

「こつちにはカメおる!」といった歓声が上がりました。普段は学校や習い事、ゲームやスマホ操作が多く、生き物に触れる機会が減っていると思います。

今回、初めて魚釣りなどを体験するとともに吉田先生にさまざまな生き物のことを教えてもらい、子どもたちは興味いっぱいでした。子ども会単独では今回のような企画ができなかったので、さまざまなつながりからこういった活動ができて良かったです。

吉田さん（生き物アドバイザー、奈良県立磯城野高校教諭）..

生徒は子どもたちと一緒に生き物を見つけ、教えることで良い刺激になったと思います。

その後、子どもたちは見たこ



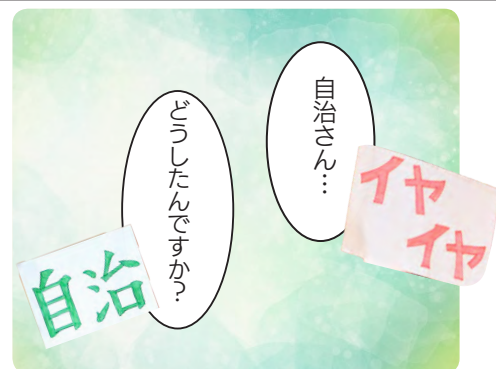
と、経験したことを絵日記のように描いていました。生き物に触れることでその多様性や農業、つまり自分たちの食卓を守ることを学ぶことができました。

木村さん..こういった自然からの

学びを残したいと思い、今回は的場以外の地域の子どもたちが参加してくれました。今後、地元や他の地域にも参加してもらいたいと思っています。

「自分たちの役割を 知ることから」が まちづくりの第一歩

～策定委員会グループディスカッション～



参加の段階

< 直接の参加方法 >



< 間接の参加方法 >

- ・住民投票
- ・委員会
- ・ワークショップ
- ・コンペ、コンクール
- ・アンケート
- ・対面ヒアリング
- ・マッピング
- ・ニュースレター

▶▶ 段階に“優劣”はなく、どの参加も必要！

＼皆さんの参加が声となり、まちづくりにつながっていきます！／



グループディスカッションでは、それぞれの立場での考えや意見を聞くことで、改めて自分たちの役割を認識し、自分たちができることを考える、そしてその役割を担うために、誰と協力すれば良いかを話し合っていたいただきます。

#自分の役割を知って自分たちのできることを考える

計画策定委員会では、今後の介護保険制度の費用負担や仕組みなどの話し合いを行っています。委員は、保健医療・福祉関係者及び住民代表者で構成されています。これまでは、町からの情報を元に計画案などを審議していましたが、事例をもとに高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために助け合える地域づくりを目指して、自分たちができることを考えるためのグループディスカッションを実施しました。

#計画策定に当たって

広 陵町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画は、保険給付の円滑な実施のために3年間を1期として策定しています。現在は、第9期（令和6～8年度）の策定年度です。



町では、住み慣れた地域で住み続けるために、できることを一緒に考えていく取り組みを進めています。

#助けを必要としている人の立場になって考える

（住民代表：半澤さん）グループディスカッションは、結構盛り上がりました。グループ内に民生委員の方がおられたので、お話を聞くことで民生委員の取り組みがよくわかりました。高齢者の中には、人に迷惑をかけたくないとおっしゃる方もおられるので、地域の住民同士で「助けてもらってもいいんですよ」と声をかけることも自分たちの役割であると思いました。私の妻は、以前住んでいたところで、毎日隣の人に電話をかけて安否確認をしていました。そういうことができればいいなと思います。誰かと協力してできることは、地域で仲の良い友人をつくるのが一番だと思います。

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

自治さんと学ぶ 自治基本条例講座

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366

Vol.35

「何かをしたい想い」が まちづくりの第一歩

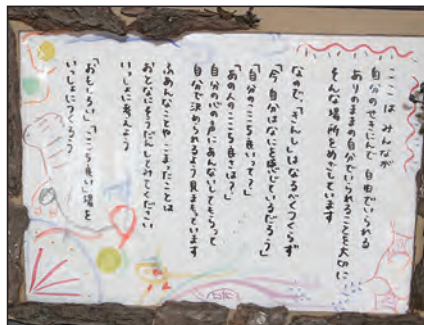
～ だがし屋3サン堂 ～

役場から南へ500メートル。
地元の南郷会館で定期的に駄菓子
屋や子どもたちの居場所づくりの
ために開いている「だがし屋3サ
ン堂」を訪れ、発起人の長谷川さ
んにお話を伺いました。

きっかけ

子どもを天理市にある「森のよ
うちえん」に通わせています。そ
こで受け取ったものから、子ども
たちが自分の責任で、自由に遊べ
る空間を地域の子どもたちと一緒
に作りたい、自分や自分の子ども
だけではなく、地域のみんなと幸
せになれたらいいな、と思って始
めました。

また、地域の高齢者など、いろ
んな世代が集まる場所になればい
いなと思っています。



現在の活動

始めは、人も場所も決まらず
どうしようかと思いましたが、区
長さんや地域の方から協力しても
らって南郷会館を使わせてもらう
ことができました。駄菓子屋は駄
菓子が好きなママ友にも手伝っ
てもらい、子どもたちがここへ来
るきっかけになっています。そし
て子どもが本、自然物、ボードゲ
ームなどリアルに関わり合う空間を
大事にしています。普段は家で
ゲームをしている子も、ここでは
みんなで駄菓子を食べたり、もの
づくりをしながらコミュニケーション
をとっていますね。



▲お菓子、どれにしようかな

今後の方針や伝えた こと

子どもと大人が育ち合い、失
敗やケガをしながらも、遊びを通
して自ら学びを得られるプレー
パークを地域の大人も子どもも一
緒になって作りたいですね。それ
と、高齢者が集うオレンジカフエ
などこの駄菓子屋とをつなぎた
いです。

地域のあらゆる人たちがみんなが
つながりあって「この地域に住ん
で良かったな」と思えるような
ことをしていきたいですね。



▲木と糸を使って作ったよ！



▲お兄ちゃんが本の見方を教えるよ

「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩

～元気に動きたい仲間募集！～



中央体育館でトレーニング教室を開催している団体を取材しました。

#きっかけ

元々、中央体育館の主催事業として実施されていたものがいつのまにか自主事業のグループになっていました。コロナ前は40人ほどでトレーニングしていたのですが、コロナ禍だったのと高齢化とで、現在は10人あまりになってしまいました。

#現在の活動

毎回トレーナーを招いて、エアロビクス、ダンベルやボールを使った体操、脳トレ、最後に柔軟体操をしています。介護予防ではなく、普段の生活を健康に元気で過ごせるよう楽しく和気あいあいと運動を続けています。



#参加者の声

「当初は友達に誘われてしゃーなしに来てたけど、知り合いができていくうちに楽しくなったわ」「みんなが集まってワイワイしながらやるのがええねん」「けっこう激しい動きのやつもあるんやで」と嬉しそうに話します。

#一緒にしませんか

先生、仲間、健康な自分、アリーナ、みんなありがとう！毎回元気に参加しています。

毎週水曜日午後1時30分から中央体育館のアリーナで行っているの、一緒にチャレンジしませんか。

持参物…バスタオル、上靴、飲料

身体だけでなく頭も口も元氣いっぱいでした！やっぱ、楽しいが一番ですね！

